専門研修「医師」

【実施日】	7月28日(金) 13:30~17:00
【受講決定者数】	23名
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none">・DHEATについての予備知識が殆どない中で受講しましたが、わかりやすく災害発生からの指揮系統の流れを知ることができ、その流れの中で自分が果たすべき役割について考える大きな指針をいただきました。・災害拠点病院については理解をしていたが、広域基幹災害拠点病院については区の患者が集中してしまうことを避ける必要があることも学びました。区の特徴として学生が多いことやイベント時には人が集中しているなどもあるため、発災時には近隣区とも協力していく必要があるとも考えた。考えなければならない事が多いことを実感しました。・応援職員として被災地に入った際は被災自治体が「yes」「no」で答えられる質問を、というお話が印象に残りました。自分自身、能登半島地震の被災地派遣に行きましたが、そのように対応できていたかどうか、振り返る機会になりました。・受援のためは平時からの準備が重要であること、これからの避難所は1.5次避難所のイメージをもって準備していく必要があることを学びました。